

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																											
札幌プライダルアンドホテル観光専門学校		平成20年11月12日		藤田 高峰		〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目1-11 (電話) 011-232-3334																											
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																											
学校法人三幸学園		昭和60年3月8日		屋間 一彦		〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-9641																											
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																										
衛生	衛生専門課程	ブライダルヘアメイクアンドドレス科				平成27年文部科学省告示号外第36号	-																										
学科の目的	「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、ブライダル業界の関連分野において、活躍する人材を育成する為、必要とされる知識と技能を教授することを目的とする。																																
認定年月日	平成28年2月19日																																
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																										
2年	昼間	62	35	44	6	-	10																										
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																												
120人	124	0人	13	11	24																												
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 授業科目の成績評価は、試験、レポート、履状状況等を総合的に勘案して行い、各科目ごとの基準についてはシラバスに示す。																												
長期休み	■学年始:4月1日～4月9日 ■夏季:7月23日～8月23日 ■冬季:12月23日～1月12日 ■学年末:2月20日～3月31日			卒業・進級条件	本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。																												
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 入学前相談会、スタートアッププログラム、学校生活ガイダンス、個人面談、未来デザインプログラム、コース選択ガイダンス、就職ガイダンス			課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 企業インターンシップ、海外研修 ■サークル活動: 無																												
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) ホテル、ドレスショップ、フォトスタジオ、ヘアメイクサロン、ネイルサロン、エステサロン、ブライダルジュエリー等 ■就職指導内容 身だしなみ、履歴書添削、筆記試験対策、グループディスカッション対策、面接対策、ビジネス文書 ■卒業生数 47 人 ■就職希望者数 35 人 ■就職者数 31 人 ■就職率 88.6 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 66.0 % ■その他 ・進学者数:11人(美容師免許取得コース) (令和 元 年度卒業者に関する 令和2年5月1日 時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3級ブライダルコーディネーター技能検定</td> <td>②</td> <td>43人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>認定ドレスコーディネーター検定</td> <td>③</td> <td>46人</td> <td>46人</td> </tr> <tr> <td>ブライダルメイクアップ検定</td> <td>③</td> <td>45人</td> <td>43人</td> </tr> <tr> <td>花嫁着付け2級</td> <td>③</td> <td>47人</td> <td>47人</td> </tr> <tr> <td>ネイリスト技能検定3ジェル検定初級</td> <td>③</td> <td>47人</td> <td>47人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等					資格・検定名	種	受験者数	合格者数	3級ブライダルコーディネーター技能検定	②	43人	29人	認定ドレスコーディネーター検定	③	46人	46人	ブライダルメイクアップ検定	③	45人	43人	花嫁着付け2級	③	47人	47人	ネイリスト技能検定3ジェル検定初級	③	47人	47人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																														
3級ブライダルコーディネーター技能検定	②	43人	29人																														
認定ドレスコーディネーター検定	③	46人	46人																														
ブライダルメイクアップ検定	③	45人	43人																														
花嫁着付け2級	③	47人	47人																														
ネイリスト技能検定3ジェル検定初級	③	47人	47人																														
中途退学の現状	■中途退学者 5名 ■中退率 5% 平成31年4月1日時点において、在学者98名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者93名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、目標喪失、人間関係 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・入学前に新入生、保護者に対して、学校生活や授業・就職についての説明会を実施。 ・保護者、高校時代の担任教員、心理カウンセラー等との連携を深めている。 ・担任や役職者が早期に面談を実施。																																
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有/無 ※有の場合、制度内容を記入 特待生入学制度他 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																																
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有/無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																																
当該学科のホームページURL	https://www.sanko.ac.jp/sapporo-bridal/course/coordinator/																																

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等

またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、ブライダル分野専門委員会(別紙組織図:各専門委員会)にて提案される。

提案に基づき、ブライダル分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
林 一馬	全米ブライダルコンサルタント協会	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	①
岩村 直貴	株式会社ブライダルハウスチュチュ	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	③
小高 政利	札幌ブライダルアンドホテル観光専門学校 副校長		
戸田 弥生	札幌ブライダルアンドホテル観光専門学校 教務課長		
中村 純子	札幌ブライダルアンドホテル観光専門学校 教務主任		
安部 由香子	札幌ブライダルアンドホテル観光専門学校 教務主任		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(8月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和元年12月6日 17:00～18:00

第2回 令和2年8月27日 15:00～16:00予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。

①業界人になる前に社会人であるため、言葉遣い・所作が大切であり、様々な年齢層の方と会話ができるように時事も知っておくべきである。

⇒対応:毎週の就職対策授業に上記内容を組み込んでいる。

②お客様の要望をお伺いするカウンセリング能力を身につけることは重要である。

⇒対応:「ドレスカウンセリング」という教科を新設し、カウンセリング能力を身につけられるような授業展開を予定している。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実践的な指導を施すにあたり、ブライダル業界における実績や、実践的かつ専門的な知識・技術およびその指導能力を有する指導者が得られる企業等を選定し、実践計画の作成から連携を図る。ブライダル業界の求める人材要件に沿った計画、および評価基準・方法を設定し、企業等からのフィードバックに基づいた成績評価を行うことを基本方針とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

* 授業内容について(心理学:ブライダル業界での接客や、仲間とのコミュニケーションに活かせる心理学を学ぶ。インターンシップⅠ～Ⅲ:1年次前期～2年次前期の1年半の間、連携企業先で婚礼サービス等を経験し、ブライダル業界に必要な接客スキルを習得する。)

* 評価について(連携企業による項目別の評価をもとに最終評価に反映させ、成績認定を行うものとする)

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
花嫁着付Ⅰ-A	日本における美容文化である着付けの技術を学ぶことで卒業後の仕事の幅が広がり、活躍の場も増える。授業では技術はもとより礼節や所作などを現場の方から毎週継続して学ぶことで、接客スキルを向上させる。一般的な着付とは違い、特殊な婚礼和装の着付を学び、婚礼和装の帯など名称も学ぶ。	小林豊子きもの学院株式会社 (着付免許:京都市のコンサルタント協会)
花嫁着付Ⅰ-B	日本における美容文化である着付けの技術を学ぶことで卒業後の仕事の幅が広がり、活躍の場も増える。授業では技術はもとより礼節や所作などを現場の方から毎週継続して学ぶことで、接客スキルを向上させる。一般的な着付とは違い、特殊な婚礼和装の着付を学び、婚礼和装の帯など名称も学ぶ。	小林豊子きもの学院株式会社 (着付免許:京都市のコンサルタント協会)
花嫁着付Ⅱ-A	日本における美容文化である着付けの技術を学ぶことで卒業後の仕事の幅が広がり、活躍の場も増える。授業では技術はもとより礼節や所作などを現場の方から毎週継続して学ぶことで、接客スキルを向上させる。一般的な着付とは違い、特殊な婚礼和装の着付を学び、婚礼和装の帯など名称も学ぶ。花嫁着付けⅠより、高度な技術を学ぶ。	小林豊子きもの学院株式会社 (着付免許:京都市のコンサルタント協会)
花嫁着付Ⅱ-B	日本における美容文化である着付けの技術を学ぶことで卒業後の仕事の幅が広がり、活躍の場も増える。授業では技術はもとより礼節や所作などを現場の方から毎週継続して学ぶことで、接客スキルを向上させる。一般的な着付とは違い、特殊な婚礼和装の着付を学び、婚礼和装の帯など名称も学ぶ。花嫁着付けⅠより、高度な技術を学ぶ。	小林豊子きもの学院株式会社 (着付免許:京都市のコンサルタント協会)
ドレス&メイクインターンⅠ～Ⅲ	現場での勤務を通して、婚礼の衣裳合わせ等を学び、お客様を迎えるまでの準備や接客の基本姿勢を学んでいく。	マスダプランニング株式会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日のブライダル業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。

- ・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修
- ・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ブライダルマーケットを知る」(連携企業等:株式会社リクルートマーケティングパートナーズ)

期間:令和元年9月24日(火) 対象:教員(64名)

内容:ブライダル業界の現状と業界に求められるスキルについて

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「PEP TALK」(連携企業等:一般財団法人日本ペップトーク普及協会)

期間:令和元年8月23日(金) 対象:教員(10名)

内容:元気・活気・勇気を与えるトーク術

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ブライダル業界の現状と必要とされる人材とは」(連携企業等:ウェディングコンサルティング 和田靖子様)

期間:令和2年8月21日(金) 対象:教員(15名)

内容:ブライダル業界の現状、必要とされる人材、チームマネジメント

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「折れそうな気持ちを再起させる」(連携企業等:フリーウェディングプランナー Ayame様)

期間:令和2年10月2日(金) 対象:教員(12名)

内容:個性を見つけ出す方法、夢をかなえる為の努力とチャンスの掴み方

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学修成果
(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	(11) 国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

委員会にいただいた以下の意見について対応を行っている。

・卒業後の支援について、各業種に応じたプログラムの実施を検討してはどうか

⇒対応: 学内に担当チームを設置し、研修内容や実施期間などを検討する。同窓会サイトを有効に利用できる仕組み作りを行い、多くの卒業生に役立ててもらえるようにする。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
中村 宗人	マスダプランニング株式会社	平成(令和)2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	企業等委員
松本 香織	グローヴエンターテイメント株式会社	平成(令和)2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	企業等委員
住吉 大輔	共立メンテナンス株式会社	平成(令和)2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	学生寮運営
建部 糸音	有限会社三景スタジオ	平成(令和)2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.sanko.ac.jp/sapporo-bridal/pdf/kankeisyahyouka_sapporo.pdf

公表時期: 令和2年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目指す。

1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。
2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。
3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげること。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
(2) 各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要件、目指すべき人材像、取得可能資格、就職実績
(3) 教職員	教員数、組織、専門性
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6) 学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL:https://www.sanko.ac.jp/sapporo-bridal/pdf/school_information.pdf

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ブライダルヘアメイクアンドドレス科)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		ブライダル知識Ⅰ	婚礼の歴史や挙式・披露宴の基礎知識を学び、「ブライダルコーディネーター技能検定」取得を目指します。	1年	30	2	○			○		○		
2	○		ブライダル知識Ⅱ	婚礼の歴史や挙式・披露宴の基礎知識を学び、「ブライダルコーディネーター技能検定」取得を目指します。	2年	45	3	○			○		○		
3	○		未来デザインプログラム	ビジネス書の「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う。	1年	30	2	○			○		○		
4	○		ブライダルビジネスマナー	敬語の使い方、履歴書の書き方やビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方ははじめ、ルールやマナーを学ぶ。	1年	30	2	○			○			○ ○	
5			○ 就職対策Ⅰ	就職活動の流れやを知り、企業研究・自己分析・履歴書作成・面接練習などを実践する。	1年	30	2	○			○		○		
6			○ 就職対策Ⅱ	就職活動の流れやを知り、企業研究・自己分析・履歴書作成・面接練習などを実践する。	2年	30	2	○			○		○		
7			○ パーソナルカラー	現場で即戦力となれるように、色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身に付ける。	1年	30	2	○			○			○	
8			○ フラワーアレンジ	ウェディングに人気の花の種類・値段・ブーケ・装花のスタイルと作成技術を学ぶ。	1年	45	3	○			○			○ ○	
9			○ ペン字	日常的な文字を綺麗に書く事により、履歴書をはじめ、書類を専門的な技術、知識をもって書けるようにする。	1年	15	1	○			○			○	
10			○ ブライダルプロジェクトⅠ	日頃の授業のアウトプットとして現場体験ができる行事を取り入れ、企画立案施行の全てが出来るようにする。	1年	60	4	○			○		○		
11			○ ブライダルプロジェクトⅡ	日頃の授業のアウトプットとして現場体験ができる行事を取り入れ、企画立案施行の全てが出来るようにする。	2年	60	4	○			○		○		

12	○	ドレスデザイン	「認定ドレスコーディネーター検定」の取得を目標にドレススタイリストに必要な技術・知識を学ぶ。	1年	60	4	○			○		○	
13	○	アテンダー実践	プランナー・キャプテン・介添え等の当日の動きと心構えを学び、具体的なアテンド方法をロールプレイングを通して学ぶ。	1年	30	2	○			○			○
14	○	花嫁着付Ⅰ-A	一般的な着付とは違い、特殊な婚礼和装の着付を学び、婚礼和装の帯など名称も学ぶ。	1年	45	2	○			○			○ ○
15	○	花嫁着付Ⅰ-B	一般的な着付とは違い、特殊な婚礼和装の着付を学び、婚礼和装の帯など名称も学ぶ。	1年	45	2	○			○			○ ○
16	○	花嫁着付Ⅱ-A	一般的な着付とは違い、特殊な婚礼和装の着付を学び、婚礼和装の帯など名称も学ぶ。 花嫁着付Ⅰより、高度な技術を学ぶ。	2年	45	2	○			○			○ ○
17	○	花嫁着付Ⅱ-B	一般的な着付とは違い、特殊な婚礼和装の着付を学び、婚礼和装の帯など名称も学ぶ。 花嫁着付Ⅰより、高度な技術を学ぶ。	2年	45	2	○			○			○ ○
18	○	ベーシックメイクA	ベーシックメイク検定対策、基本的なメイクの手順、骨格や肌の構造等を学びフルメイクの基礎メイクテクニックを学ぶ。	1年	45	2	○			○		○	
19	○	ベーシックメイクB	ベーシックメイク検定対策、基本的なメイクの手順、骨格や肌の構造等を学びフルメイクの基礎メイクテクニックを学ぶ。	1年	45	2	○			○		○	
20	○	ブライダルヘアアレンジⅠ	一束やピンニング、ホットカーラーや編み込み等ヘアアレンジの基礎からベーシックなアップスタイルを学ぶ。	1年	30	1	○			○			○ ○
21	○	ブライダルネイルⅠ	JNECネイリスト技能検定3・2級取得を目指し、基礎的なネイルケア～カラーリング・アートや簡単な付け爪(チップラップ)まで学ぶ。	1年	90	3	○			○			○
22	○	ブライダルネイルⅡ	1年次に学んだネイルアートⅠの技術向上とジェル検定初級取得を目指す。またブライダルネイルで使えるアートなどの技術を学び作品制作を行う。	2年	75	2	○			○			○
23	○	ブライダルエステ	ブライダルエステの基礎知識・技術を習得する。 ・フェイシャル、ボディ技術理論 ・フェイシャルケア・ボディケア	2年	60	2				○	○		○
24	○	ブライダルメイクⅠ	検定対策、スキンケア、トラブルメイク、チェンジ(タイムアップ含む)など、式に関わるトータルヘアメイクを学ぶ。	1年	45	2	○			○			○
25	○	ブライダルヘアアレンジⅡ	和装や洋装、年代に合わせたヘアメイクをデザインし、相モデルで行うなどして幅広いアレンジを学ぶ。	1年	45	2	○			○			○ ○
26	○	ブライダルヘアアレンジⅢ	ブライダルのクイックチェンジやお色直しの際に行う様々なヘアチェンジに対応出来る様に相モデルでより実践的に学ぶ。	2年	90	3	○			○			○

42		○	ブライダル実務Ⅰ	挙式・披露宴の基礎知識、社会人に必要なビジネスマナーを学びます。また演習を通し、現場スタッフに必要な実践力を身につける。	1年	60	2		○	○	○						
43		○	ブライダル実務Ⅱ	挙式・披露宴の基礎知識、社会人に必要なビジネスマナーを学びます。また演習を通し、現場スタッフに必要な実践力を身につける。	2年	60	2		○	○	○						
44		○	ブライダル実務Ⅲ	挙式・披露宴の基礎知識、社会人に必要なビジネスマナーを学びます。また演習を通し、現場スタッフに必要な実践力を身につける。	2年	60	2		○	○	○						
45																	
46																	
47																	
48																	
49																	
50																	
合計					44科目	2220単位時間(95単位)											

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。 また、フラワーアレンジ・花嫁着付Ⅰ-A・花嫁着付Ⅰ-B・花嫁着付Ⅱ-A・花嫁着付Ⅱ-B・ブライダルヘアアレンジⅠ～Ⅱ・ブライダルメイクⅡ・ドレス&メイクインターンⅠ～Ⅲは必履修科目としている。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。